

甲南大学法科大学院入学試験問題について

2017年度秋入学・2018年度春入学
一般入学試験（A日程・8月27日分）

試験科目：刑法

1. 出題趣旨

名古屋高判平成19年2月16日判タ1247号342頁に類似した事案を素材に、実行の着手や中止犯の成否等、刑法総論の重要問題を中心に、具体的な事実関係を分析してそれに法規範を適用する能力及び論理的思考力・論述力を試すものである。

2. 採点実感

問題文に表れた事実がどのような犯罪の成否に関係があると考えているかについての一応の記述はみられるものの、いかなる事実がどのような法的问题点を提起するのかに関する記述が不十分であるものや、各論点ないし適用条文の相互関係に関する理解が正確とはいえない答案などが、散見された。

3. 学習方法

条文を確認しながら教科書を読みこむことが基本である。判例は、判示部分だけでなく、事案とセットで理解する必要がある。さらに、法的論争点については、抽象的に説明するのではなく、典型例・具体例を挙げながら説明できるよう心掛けられたい。